

八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」(主な結果)

1 目的

第5次総合計画の策定のため、取組への評価や、まちづくりのあり方などについての市民の意見を把握する。

2 調査方法

- (1) 実施期間 平成28年10月7日(金)～10月24日(月)
- (2) 調査方法 郵送による調査票の配布・回収
- (3) 調査対象
- ・市民調査……八幡市に住民登録している18歳以上の方(注)
 - ・転入者調査……他市から八幡市に転入されてきた25～44歳(平成28年9月1日時点)の方
 - ・転出者調査……近畿2府4県の市町村に転出した25～44歳(平成28年9月1日時点)の方
- (注) 過去の回収状況を参考に、回収数が実際の人口分布に近くなるよう、性別・年齢階層・地区別に補正比率を設定して算出した男女別・年齢別・地区別の抽出数に基づいて無作為抽出した。

3 調査の対象と回答状況

名称	発送数	未達数	有効発送数	有効回答数	回収率
市民調査	3,021	15	3,006	1,192	39.7%
転入者調査	976	11	965	220	22.8%
転出者調査	1,050	29	1,021	262	25.7%

4 市民調査

(1) 回答者の属性

① 居住地区

	八幡・川口	東部	美濃山	男山	橋本	無回答
今回調査	33.1%	5.3%	16.0%	25.8%	19.1%	0.8%
住基割合(※1)	35.2%	5.3%	13.3%	31.4%	14.8%	

(※1) 全年代を含む(平成27年3月末)

② 年齢

	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
今回調査	12.5%	13.1%	14.3%	12.6%	20.5%	26.8%	0.3%
住基割合(※2)	13.1%	14.7%	17.7%	13.5%	19.7%	21.3%	

(※2) 18歳以上の人口で調査(平成27年3月末)

③ 性別

男性42.7% 女性56.8%

(2) 八幡市の住み良さ

① 八幡市の住み良さ

	住み良い	どちらかといえば住み良い	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	どちらともいえない	無回答
今回調査	18.5%	49.5%	9.6%	3.1%	17.3%	2.1%
前回調査(※3)	9.8%	49.7%	15.8%	5.8%	18.9%	

(※3) 平成17年実施「八幡市のまちづくりのための「市民アンケート調査」

② 今後の居住意向

	ずっと住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば市外に移りたい	市外に移りたい	無回答
今回調査	22.5%	51.3%	19.6%	3.8%	2.8%
前回調査(※3)	18.5%	48.9%	26.2%	6.5%	

- ・約7割が本市での継続居住意向を示している。
- ・18～29歳男女で「どちらかといえば市外に移りたい」が全体に比べて10ポイント以上多い。
- ・美濃山地区は、「ずっと住み続けたい」が全体に比べて10ポイント以上多く、前回調査から20ポイント以上上昇。

※住み続けたい理由（「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した方の理由）

	第1位	第2位	第3位
今回調査	近隣に商店や病院などが充実し、生活する上で便利だから (39.5%)	緑や公園が多く、まちな環境が良いから (26.7%)	住宅の事情から (26.4%)
前回調査(※3)	住宅の事情から (33.6%)	緑や公園が多く、まちな環境が良いから (30.6%)	地域に愛着があるから (25.6%)

※市外に移りたい理由（「市外に移りたい」「どちらかといえば市外に移りたい」と回答した方の理由）

	第1位	第2位	第3位
今回調査	治安に不安があるから (25.4%)	市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くなりから (24.0%)	近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから (22.9%)
前回調査(※3)	治安に不安があるから (28.6%)	市外に通勤・通学や買い物等をする上で交通の便が良くなりから (25.6%)	近隣に商店や病院などが少なく、生活する上で不便だから (24.4%)

(3) 八幡市のこれからのまちづくりについて

① 「八幡市らしさ」をイメージするもの

	第1位	第2位	第3位
今回調査	石清水八幡宮 (91.7%)	流れ橋 (38.9%)	桜（背割堤等） (36.7%)
前回調査(※3)	石清水八幡宮 (88.3%)	流れ橋 (47.5%)	松花堂 (34.9%)

・50歳代男女で「流れ橋」、18～29歳男性で「竹（エジソンの逸話など）」、30歳代女性で「桜（背割堤等）」、70歳以上男性で「三川合流域」、70歳以上女性で「松花堂」「男山の自然」が、全体に比べて10ポイント以上多い。

② 「わがまち・八幡」への愛着や誇り

	多に愛着や誇りを感じている	愛着や誇りを感じている	あまり愛着や誇りを感じることはない	あまり愛着や誇りを感じたことはない	無回答
今回調査	3.9%	46.0%	39.3%	8.8%	2.0%

・東部地区で「感じている」が10ポイント以上高く、30歳代女性や美濃山地区で「感じることはない」が10ポイント低い。

③ 八幡市での暮らしの満足度

	とても満足	まあまあ満足	あまり満足していない	まったく満足していない	わからない	無回答
今回調査	4.6%	68.0%	18.7%	1.4%	6.5%	0.8%

④ これからの八幡市に望むもの

	第1位	第2位	第3位
今回調査	みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのまち (43.8%)	災害に強く、防犯や交通安全対策等が充実した、安全で安心できるまち (42.4%)	鉄道・バスなどの公共交通機関や道路が充実し、便利で快適なまち (38.7%)
前回調査(※3)	緑豊かでうるおいのあるまち (47.4%)	人にやさしい福祉・健康づくりのまち (44.8%)	安全で安心できるまち (41.7%)

(4) 八幡市役所の取組

八幡市の行政の取組への満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
今回調査	6.5%	64.9%	14.8%	5.3%	8.4%

(5) 第4次総合計画の「めざす姿」になっていないと思う理由（5件以上あげられた意見）

政策	施策	意見の概要	件数
商業	商業拠点の活性化の推進	駅周辺の商業が活性化していない	32
道路	道路環境の整備	歩道の段差を解消して欲しい	22
商業	商業拠点の活性化の推進	八幡市駅周辺の商業が活性化していない	22
社会保障	低所得者福祉の充実と適正化	生活保護制度を適正に運営して欲しい	21
公共交通	バス交通の充実	バスの運行本数が少なく不便である	20
防犯・交通安全	防犯体制の強化	犯罪が発生している	19
公園・緑地・河川	公園の整備	公園の管理が不十分である	18
学校教育	学校ユニバーサルデザイン化構想の推進	学力向上が必要である	15
道路	市内幹線道路の整備	山手幹線の交通渋滞を解消して欲しい	14
観光	歴史文化を活かした観光の推進	石清水八幡宮を活かした取り組みがみられない	13
観光	観光協会との連携及び情報提供の推進	八幡市のことが知られてない	13
公共交通	バス交通の充実	美濃山地区と市役所を結ぶ路線がなく不便	12
全般	全般	行政の成果が分からない	12
道路	生活道路の整備	狭い道路が多い	11
道路	道路環境の整備	歩道を整備して欲しい	11
行政経営	計画的な行政経営の推進	行政についての情報提供を充実してほしい	11
保健・医療	医療体制の充実	救急医療を充実してほしい	10
市街地	八幡市駅周辺の整備	八幡市駅前の整備が必要である	10
道路	市内幹線道路の整備	交通渋滞を解消して欲しい	10
商業	商業環境の充実	地元の商店に活気がない	10
公園・緑地・河川	河川の整備	河川や堤防がきれいでない	10
国際理解	全般(国際理解)	あまり外国人を見かけない	9
工業	企業誘致の推進	企業の立地が進んでいない	9
商業	商業拠点の活性化の推進	橋本駅周辺での買い物に不便である	9
商業	商業拠点の活性化の推進	男山団地の商業が活性化していない	9
観光	全般(観光)	観光を通じた産業活性化がみられない	9
地域コミュニティ	自治意識の醸成	コミュニティ活動が活発でない	8
青少年健全育成	健全育成推進体制の充実	夜間にバイクの暴走行為が見られる	8
スポーツ	スポーツ施設の充実	施設が遠いため利用しにくい	7
保健・医療	医療体制の充実	大きな病院が少ない	7
道路	道路環境の整備	自転車道を整備して欲しい	7
商業	商業拠点の活性化の推進	橋本駅と駅周辺の整備が必要である	7
住宅・住環境	住環境整備の推進	空き家対策が必要である	7
財政運営	健全な財政運営の推進	無駄の排除を徹底してほしい	7
財政運営	健全な財政運営の推進	職員数が多すぎる	7
国際理解	国際理解の促進	外国人と交流する機会が少ない	6
生活環境	環境にやさしい市民、事業者の育成	ごみのポイ捨てが見られる	6
循環型社会	収集システムの確立	ごみの分別ルールが守られていない	6
公共交通	バス交通の充実	バスが遅れて困る	6
情報通信	全般(情報通信)	めざす姿が実現していないと思う(情報通信)	6
防災	防災基盤の整備	大雨で浸水しないようにしてほしい	6
防犯・交通安全	交通安全の推進	住宅地での交通量が多く危険である	6
消費生活	消費者保護対策の推進	詐欺やトラブルが発生している	6
その他	その他	その他	6
国際理解	全般(国際理解)	多文化理解が進んでいない	5
青少年健全育成	健全育成推進体制の充実	夜間に散歩する青少年を見かける	5
スポーツ	生涯スポーツ活動の推進	生涯にわたってスポーツできる環境が欲しい	5
自然環境	自然環境との調和を目指した都市基盤の整備	開発により自然が減っている	5
生活環境	公害防止活動の推進	騒音で困っている	5
景観	都市景観の向上	自動車処理業の集積地付近の景観が良くない	5
市街地	全般(市街地)	中心となる市街地のイメージが湧かない	5
道路	広域幹線道路の整備	国道1号線に歩道を整備して欲しい	5
公共交通	全般(公共交通)	公共交通が不便である	5
公共交通	バス交通の充実	バス路線を充実して欲しい	5
公共交通	バス交通の充実	最終バスの時間が早い	5
農業	多様な担い手の育成・強化	若い農業の担い手が減っている	5
農業	生産基盤の強化	農地が減っている	5
商業	商業拠点の活性化の推進	商業が活性化していない	5
商業	商業環境の充実	身近で買い物ができず不便である	5
観光	全般(観光)	観光客が増えていない	5
上下水道	経営の安定化	水道料金が安い	5
公園・緑地・河川	公園の整備	公園が利用されていない	5
防犯・交通安全	交通安全の推進	交通事故が発生している	5
防犯・交通安全	交通安全の推進	夜中の車やバイクの音がうるさい	5
防犯・交通安全	交通安全の推進	駐車違反がみられる	5
行政経営	職員の資質向上	職員の育成が必要である	5
財政運営	健全な財政運営の推進	財政が健全ではないように思われる	5
財政運営	効率的な財政運営の推進	税金が高い	5

(6) 自由意見（3件以上あげられた意見）

八幡市の取組や生活環境の改善、将来のまちづくりに向けた具体的なアイデアなどについて自由意見を聞いたところ、延べ541件の回答を得た。

政策別にみると、「行政経営」が75件と最も多く、「公共交通」が57件、「商業」が51件と続いている。

政策	施策	意見概要	件数
公共交通	バス交通の充実	美濃山地区から市役所方面へのバスを運行してほしい	15
商業	商業拠点の活性化の推進	八幡市駅周辺の商業を活性化してほしい	15
商業	商業拠点の活性化の推進	橋本駅周辺の商業を活性化してほしい	13
行政経営	職員の資質向上	市職員の対応が良い	10
防犯・交通安全	防犯体制の強化	街灯を増やしてほしい	9
行政経営	職員の資質向上	市職員は勤務態度を改善してほしい	8
観光	歴史文化を活かした観光の推進	石清水八幡宮を活用してほしい	6
防犯・交通安全	防犯体制の強化	治安を向上してほしい	6
生涯学習	図書館の充実	美濃山地区に図書館がほしい	5
道路	生活道路の整備	道路の舗装を補修してほしい	5
商業	商業拠点の活性化の推進	駅周辺の商業を活性化してほしい	5
商業	既存商業地の活性化	商店街や小売店舗、飲食店を充実してほしい	5
行政経営	計画的な行政経営の推進	市民の意見を取り入れてほしい	5
その他	議会	議員の政務活動費を適切に使ってほしい	5
市民協働	市民参画の推進	市政のことをあまり知らない	4
保健・医療	医療体制の充実	市内に総合病院を増やしてほしい	4
市街地	橋本駅周辺の整備	橋本駅周辺を整備してほしい	4
公共交通	バス交通の充実	バスを便利にしてほしい	4
商業	既存商業地の活性化	男山団地の商業を活性化してほしい	4
観光	観光協会との連携及び情報提供の推進	八幡市のPRを充実してほしい	4
住宅・住環境	良好な住宅の供給促進	男山団地を再生してほしい	4
行政経営	効率的な行政経営の推進	スピーディーに業務をしてほしい	4
財政運営	健全な財政運営の推進	職員数が多い	4
財政運営	効率的な財政運営の推進	ふるさと納税を活用してほしい	4
地域コミュニティ	コミュニティ施設の整備	多世代が交流できる取組や場を増やしてほしい	3
学校教育	学校ユニバーサルデザイン化構想の推進	学力向上に取り組んでほしい	3
生活環境	公害防止活動の推進	犬の糞対策をしてほしい	3
道路	市内幹線道路の整備	渋滞を解消してほしい	3
道路	道路環境の整備	側溝に蓋をしてほしい	3
公共交通	鉄道の充実	八幡市駅に急行を停車してほしい	3
公共交通	バス交通の充実	コミュニティバスの運行本数を増やしてほしい	3
工業	企業誘致の推進	企業誘致に積極的に取り組むことが望まれる	3
防災	防災基盤の整備	水害対策を進めてほしい	3
防災	防災基盤の整備	行政防災無線のスピーカーの音声が聞き取りにくい	3
防犯・交通安全	交通安全の推進	通学路を安全にしてほしい	3
消防・救急	救急・救助体制の充実	救急医療を充実してほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	若い世代が住みやすいまちづくりを進めてほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	八幡市をもっとアピールしてほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	八幡市のイメージを改善してほしい	3
行政経営	計画的な行政経営の推進	現場の職員の意見を取り入れてほしい	3
行政経営	効率的な行政経営の推進	無駄な公共工事を減らしてほしい	3
その他	アンケート	アンケートの結果を公表してほしい	3

5 転入者調査

(1) 回答者の属性

① 居住地区

	八幡・川口	東部	美濃山	男山	橋本	無回答
今回調査	34.5%	3.2%	13.2%	25.5%	23.2%	0.5%

② 年齢

	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	無回答
今回調査	25.5%	33.2%	24.1%	16.8%	0.5%

③ 性別

男性 45.9% 女性 54.1%

④ 八幡市転入前の居住地

	第1位	第2位
今回調査	大阪府 (41.4%)	京都府 (31.4%)

・都道府県単位では大阪府・京都府で約7割を占めている。市町村別では京都市と枚方市が各18.2%と最も多くなっている。

(2) 転入理由や転入先の決定

① 八幡市に転入した主な理由

	第1位	第2位
今回調査	結婚（事実婚含む）(25.9%)	住宅の購入 (19.5%) 就職・転勤 (19.5%)

・居住地別に見ると、美濃山地区と橋本地区では、「住宅の購入」が全体に比べて10ポイント以上多い。

② 転入を決める際に考慮したこと（1～3位まで順位をつけて回答、表はそれらを合計しランク付けしたもの）

	第1位	第2位	第3位
今回調査	親や子どもの家との近さ (40.8%)	職場や自分の学校への近さ (35.5%)	買い物など日常生活の便利 さ (32.7%)

(3) 八幡市のイメージ

① 八幡市の魅力（以前住んでいた地域と比較し感じる魅力）

	第1位	第2位	第3位
今回調査	自然環境が豊かである (34.5%)	買い物など日常生活が便利 (30.9%)	通勤・通学が便利 (23.6%)

② 八幡市の不満（以前住んでいた地域と比較し感じる不満）

	第1位	第2位	第3位
今回調査	公共交通が不便 (31.8%)	地域の治安が良くない (30.9%)	まちのイメージが良くない (30.0%)

(4) 八幡市の住み良さ

① 八幡市の住み良さ

	住み良い	どちらかといえば住み良い	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	どちらともいえない	無回答
今回調査	16.4%	49.1%	13.6%	5.9%	14.1%	0.9%

・約6割が住み良いと評価している。

② 今後の居住意向

	ずっと住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば市外に移りたい	市外に移りたい	無回答
今回調査	17.3%	46.4%	24.5%	10.9%	0.9%

・約6割が本市での継続居住意向を示している。

・美濃山地区は、継続居住の意向が、東部地区は市外への転出意向が全体に比べ10ポイント以上多い。

※転出したい理由（「市外に移りたい」「どちらかといえば市外に移りたい」と回答した方の理由）

	第1位	第2位	第3位
今回調査	治安に不安があるから (35.9%)	市外に通勤・通学や買い物等 をする上で交通の便が良くない から (30.8%)	仕事の都合（自分や家族の転 勤など）(26.9%)

6 転出者調査

(1) 回答者の属性

① 八幡市居住時の居住地区

	八幡・川口	東部	美濃山	男山	橋本	無回答
今回調査	39.7%	5.3%	11.5%	32.1%	11.1%	0.4%

② 年齢

	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	無回答
今回調査	26.3%	32.4%	23.7%	17.6%	0.0%

③ 性別

男性 45.4% 女性 54.6%

④ 現在の居住地

	第1位	第2位	第3位
今回調査	大阪府 (50.8%)	京都府 (31.6%)	兵庫県 (9.4%)

・都道府県単位では大阪府・京都府で約8割を占めている。市町村別では枚方市が23.7%と最も多く、次いで京都市 (13.7%)、大阪市 (12.2%) となっている。

(2) 転出理由や転出先の決定

① 八幡市での居住年数

	第1位	第2位	第3位
今回調査	20年以上30年未満 (31.4%)	30年以上 (15.6%)	1年以上3年未満 (13.7%)

② 転出した主な理由

	第1位	第2位	第3位
今回調査	結婚 (事実婚含む) (40.8%)	住宅の購入 (18.7%)	就職・転勤 (13.7%)

③ 転出先を決める際に考慮したこと (1～3位まで順位をつけて回答、表はそれらを合計しランク付けしたもの)

	第1位	第2位	第3位
今回調査	職場や自分の学校への近さ (51.1%)	最寄り駅までの近さ (41.9%)	買い物など日常生活の利便さ (38.2%)

(3) 八幡市のイメージ (八幡市居住時)

① 八幡市のイメージ

	良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	特にない	わからない	無回答
今回調査	11.5%	20.2%	31.3%	11.1%	19.1%	4.2%	2.7%

② 八幡市の不満 (居住時に感じていた不満)

	第1位	第2位	第3位	第4位
今回調査	地域の治安が良くない (37.0%)	まちのイメージが良くない (32.1%)	公共交通が不便 (27.1%)	通勤・通学が不便 (26.7%)

(4) 今後の八幡市での居留意向

① 今後の居留意向 (八幡市に戻る予定があるか)

	予定がある	機会があれば戻りたい	機会があっても戻りたくない	転居の機会がない	わからない	無回答
今回調査	3.4%	26.8%	16.0%	28.3%	24.4%	1.1%

② 八幡市に戻るきっかけ

	第1位	第2位	第3位
今回調査	自分または配偶者 (パートナー) の親の介護が必要になったとき (40.5%)	就職・転勤・転職等で職場が八幡市近くになったとき (配偶者 (パートナー) の職場を含む) (36.7%)	希望に沿う立地・間取りの住宅が八幡市で見つかったとき (29.1%)